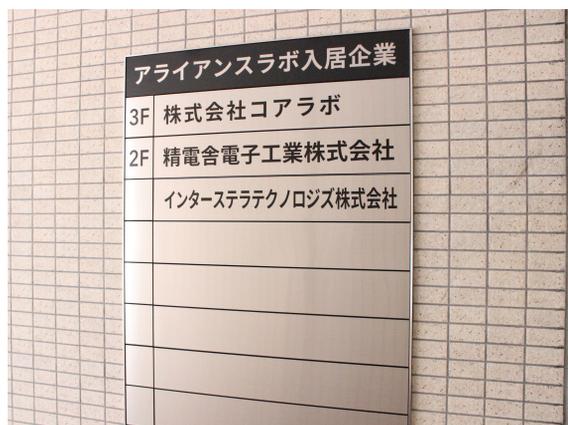


**ロケット開発を行う宇宙スタートアップ企業 インターステラテクノロジズ、
室蘭工業大学内に研究開発拠点「インターステラテクノロジズ室蘭技術研究所」を開設
超小型衛星打上げロケット「ZERO」の低コストターボポンプ開発を加速**



インターステラテクノロジズ株式会社（本社：北海道広尾郡大樹町 代表取締役社長：稲川貴大、以下IST）は、「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」ことをミッションとするロケット開発スタートアップです。観測ロケット「MOMO」と超小型人工衛星を宇宙空間に運搬する超小型衛星打上げロケット「ZERO」を独自開発・製造しています。

この度当社は、国立大学法人室蘭工業大学（北海道室蘭市 学長：空閑良壽、以下室蘭工業大学）航空宇宙機システム研究センターとの共同研究を促進するため、2020年12月下旬に大学内地方創生研究開発センター内に研究開発拠点として「インターステラテクノロジズ室蘭技術研究所」を開設いたしました。

当社と室蘭工業大学は、当社が開発している超小型衛星打上げロケット「ZERO」のロケットエンジンに搭載される低コストターボポンプについての共同研究を2019年度から実施してきました。これまでは当社の社員が航空宇宙機システム研究センター内（センター長：内海政春教授）の研究室の一部をお借りして研究開発を進めてまいりましたが、より研究開発を加速するため、研究開発拠点を大学内に開設することとなりました。

これまでは当社の社員1名と内海センター長および研究室の学生という体制で研究開発を進めてきましたが、2020年冬より常駐する当社社員が3名と増えたことから、大学の支援制度「アライアンスラボ制度*」を活用し、研究開発拠点を開設しました。「アライアンスラボ制度」は2020年6月から運用を開始し、本制度により研究開発拠点を開設した企業は、当社が3社目となります。これにより、当社のロケット開発体制は大樹本社、東京支社（千葉県浦安）と室蘭技術研究所の3拠点での開発となります。

【概要】

- ・ 名称 : インターステラテクノロジズ室蘭技術研究所
- ・ 入居日 : 2020年12月23日（水）
- ・ 住所 : 北海道室蘭市水元町27番1号 室蘭工業大学地方創生研究開発センターT207室
- ・ 開設目的 : 「ZERO」のロケットエンジンに搭載される低コストターボポンプの共同研究

【インターステラテクノロジズからのコメント】

この度の室蘭技術研究所の設置によって、室蘭工業大学との共同研究のさらなる促進と、低コストターボポンプの開発、その成果を活用した超小型衛星打上げロケット「ZERO」用エンジンのいち早い完成を目指し、一層連携を深めたいと考えます。

*アライアンスラボ制度：室蘭工業大学の研究成果の事業化支援、室蘭工業大学と企業との共同研究を促進するため、企業の研究開発室として地方創生研究開発センターの部屋（アライアンスラボ）を有償で貸付する制度です。（https://www.muroran-it.ac.jp/guidance/r_so/ciulg_rc/alliance.html）

インターステラテクノロジズ株式会社
本社：〒089-2113 北海道広尾郡大樹町字芽武149-7 URL：http://www.istellartech.com/

《本件に対する問い合わせ先》
インターステラテクノロジズ株式会社 広報 中神（なかがみ） Mail：press@istellartech.com TEL：01558-7-7330

《アライアンスラボ制度や大学に関するお問い合わせ先》
室蘭工業大学研究協力課 養田、坂下 Mail：renkei@mmm.muroran-it.ac.jp TEL：0143-46-5027